



## ご挨拶

経友会会長 鈴木雅美



今年度の卒業生の皆様、ご卒業誠におめでとうございます。保護者の皆様には心よりお祝いを申し上げますとともに、校長先生並びに諸先生方のご功労に対し、改めて敬意を表したいと存じます。

皆様の中には、大学等に進学される方、就職される方がおられます。それぞれの進路にお進みになる中で壁にぶつかることもあるとは思いますが、自分の目標に向かって各方面でご活躍されることを期待いたしております。

米子松蔭高等学校同窓会である「経友会」は米子市の学内にある本部だけではなく、関西支部や中京支部もあり活動を頑張っています。この「経友会」の活動の活性化が皆様にとっても重要なことは言うまでもありません。同窓会活動を通して、同期の卒業生間の交流が卒業後も継続して行われ、さらには世代を超えた同窓生間の交流が活発に行われるような素晴らしい同窓会を目指してまいります。学校のホームページでも会の活動が掲載されておりますので、ご卒業後もぜひご覧ください。皆様の絶大なるご協力をお願い申し上げ、ご挨拶の言葉とさせていただきます。

経友会（卒業生会）

本部 米子松蔭高等学校内

会長 鈴木雅美

支部 関西支部（大阪府）

支部長 稲田二千武

中京支部（愛知県）

支部長 山崎幸治

## 経友会の皆様へ

学校長 長崎成輝



経友会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年の一月に日本国内発の新型コロナウイルス感染症第一例目が報告されてから、感染者は次々と広がり、世の中は次第に暗い不安の色に染まっていきました。未知のウイルスとの戦いでは、これまでの常識が一つずつ消えていき、それは学校も例外ではありません。これまでのコミュニケーションが行えない中、日々の授業や学校生活は一変し、卒業式や入学式をはじめ多くの学校行事が中止や内容の変更を余儀なくされました。

しかし、嘆いていても何も始まりません。日本だけでなく世界中の高校生が同じような逆境にある中で、本校の生徒たちは自分の目標に向かい、その歩みを止めることなく、しっかりと進めてくれました。今できることは何かを考え、勉強や部活動に邁進し、また協力して学校祭や各種行事を作り上げ、二度とない青春の一ページを先輩たちのそれに負けないくらいに輝かせてくれました。

危機こそ変革するチャンスであると言われますが、社会各方面での変革スピードは、この危機によって加速されているように見えます。今後社会で必要とされる資質や能力を見定め、本校の教育に取り入れながら、「社会に真に役立つ実践的人材の育成」を成し遂げてまいりたいと考えております。経友会の皆様には、今後とも本校の発展のため、ご支援とご指導を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、経友会の益々のご発展と、皆様のご多幸を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

## 卒業生×米子松蔭

～コロナに負けるな！卒業生のお店を応援しよう！～

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で打撃を受けている地元の飲食店に少しでも協力したい！ということで、「卒業生×米子松蔭～コロナに負けるな！卒業生のお店を応援しよう！～」という取り組みが行われました。これは、米子松蔭高校教職員で、卒業生がオーナーの飲食店でランチのお弁当を注文するという企画です。

コラボレーション第1弾は、米子市安倍のおしゃれなフランス料理店「ONZE（オーンズ）」さんでした。「ONZE」のオーナー 泉 康裕さんは、本校の卒業生です。

「新しく自分らしい料理」を探究し続けて、鳥取で獲れる山海の旬の食材や、自社農園で日々作られている新鮮な野菜を中心に、素材の味を活かした自由で気取らないフレンチを提供しておられます。



第2弾は、米子市彦名町の「nike（ニケ）」さんとのコラボレーションでした。懐かしさを感じる洋食メニューと、おしゃれで居心地の良い雰囲気で地元に愛されるお店です。

オーナーの山根奈々さんは1990年度の本校卒業生です。当時野球部のマネージャーをされていて、今でも応援していただいている。お店の中には、歴代の野球部のユニフォームも飾られています。

第3弾は、「ミシュランガイド京都・大阪+鳥取2019」で紹介され、「一つ星」のお店として紹介されている「酒菜 桔梗屋」さんでした。オーナーの細木晋治さんは、本校の卒業生です。

地元の魚や野菜を中心に、旬の食材で構成するコース料理を柱とし、関西の料亭で修行をされたその繊細な感性で、味もさることながら地元山陰の山海の恵みと融合した綺羅びやかな世界を演出されていらっしゃいます。



## 卒業生のご活躍

これまで約2万人もの卒業生を輩出してきた米子松蔭高校ですが、社会で活躍される卒業生のお一人をご紹介します。

鳥取県日野町のヴィンテージジーンズ工房 「Bridge of the times (ブリッジオブザタイムズ)」。オーナーの竹永正俊さんは平成8年度の卒業生です。本校卒業後アパレル業界に進み、第一線で活躍されています。そして2020年3月、縫製会社に勤めながら、故郷である日野町でジーンズ工房をオープンされました。1920～1960年代のミシンを使って当時の縫い方で、お客様の体を採寸して作られるジーンズは、世界で1本だけの特別なもので、テレビや雑誌でもよく取り上げられています。興味があれば、是非行ってみてください！ジーンズに興味を持つこと間違いなしです。



## 全国高校選抜大会へ

～全国での活躍が期待される米子松蔭高校生たち～

### 【女子ソフトテニス部】

中国地区の各県1位の学校が集まりリーグ戦が行われました。どの学校も力があり非常に厳しい戦いの連続でしたが選手は持っている力を全て出し切り2位入賞を果たすことができました。コロナ禍の中、大会開催も危ぶまれましたが、運営スタッフの方々の子供達の頑張っている場を作つてあげたいという思いから、最新の注意を払って開催していただくことができました。応援は拍手のみというルールの中、チーム一丸となって少しでも大きな拍手をしようと手が痛くなるまで頑張りました。感染予防のため無観客というルールの中で、保護者や卒業生、関係者の方々には、会場に

来て大きな声で応援したい気持ちを抑え、できる範囲で精一杯声援を届けていただきました。この機会を与えてくださった全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、今回のこの経験を活かし、全国高校選抜大会に向けて日々成長していくよう頑張ります。



### 【剣道部 男子・女子】

令和2年度全国高等学校選抜剣道大会鳥取県予選会が12月12日（土）鳥取県立武道館にて開催されました。女子は10連覇、男子は3年ぶりに優勝し3月28日から愛知県春日井市で行われる全国高校選抜大会への出場が決まりました。

昨年度は出場を決めていた全国高校選抜大会がコロナウィルス感染症拡大の影響で中止となりました。全国大会への出場が叶わなかった先輩やそのご家族、関係者の方々の気持ちも受け継ぎ、全国の舞台で頑張ってきたいと思います。応援よろしくお願いします。

